

◇葛飾清掃工場が試運転を開始します◇

●葛飾清掃工場プラント更新工事の概要

葛飾清掃工場プラント更新工事は、「水と緑の融和」、「資源・エネルギーの活用」、「やさしい景観の創出」をコンセプトとして、工場が立地する水元地区にふさわしく、また環境にやさしい清掃工場の建設を目指しています。

- 1 工事期間：平成 15 年 6 月 27 日～
18 年 12 月 15 日 (42 か月)
- 2 建築工事：既存建物の再利用及び一部増築
工場棟 地上 6 階、地下 2 階、高さ約 40m
管理棟 地上 3 階、高さ約 12m
水処理棟 地上 1 階、地下 1 階、高さ約 7m
煙突 高さ 130m
- 3 プラント工事：
処理能力 ごみ焼却炉 (250t/日・炉×2 基)
灰溶融炉 (55t/日・炉×2 基)
ボイラ 最大蒸発量 42.5t/h・炉
常用圧力 4.0MPa
常用温度 400℃
発電設備 蒸気タービン発電機 13,500kW

●工事の進捗状況と試運転の内容

平成 15 年から始まった工事は、既存プラントの解体、基礎工事、増築工事、耐震補強工事、躯体工事、仕上工事、プラント機器の製作・据付工事と進み、5 月 16 日に特別高圧電源の受電作業が終了しました。現在はプラント機器の調整や外構工事、地下搬出入路工事等が行われ、平成 18 年 5 月末の累計出来高は、建築工事約 94%、プラント工事約 91%で総合では約 92%です。

建築関係では、所轄消防署による防火・防煙構造や電気設備、消火栓設備、自動火災報知設備等の完了検査が終了しました。また、東京都建築指導課による建築物の仮使用検査と煙突、エレベーター

の完了検査も終了し、6 月 1 日には葛飾清掃工場職員の辞令交付式が、更新された管理棟で行われました。

これからの試運転期間には、主として次のことを実施して行きます。

一点目は、設置した機器の調整、慣らし運転、焼却炉及び溶融炉の乾燥焼き・ボイラ洗浄等です。電気計装設備では、制御回路の作動確認、インターロック試験等を行います。7 月 7 日には、ごみの搬入を開始し、7 月 13 日からは順次焼却炉を立ち上げ、焼却炉負荷運転を開始し、ごみ焼却施設としてのシステム調整等を行います。



南西方向から望む葛飾清掃工場

二点目は、性能を確認するための各種検査の受検です。プラント保安動力発電設備の自主検査、需要設備安全管理審査、発電設備使用前自主検査及び同安全管理審査、予備性能試験、本性能試験など検査や試験が続きます。また、労働基準監督署による第一種圧力容器及びクレーンの落成検査等も受検します。

三点目は、職員の研修です。6 月 5 日からは、工場職員を対象に建築設備・プラント設備等の研修が始まりました。最新技術を導入した設備の研修プログラムが約 2 か月間実施されます。

竣工は、平成 18 年 12 月 15 日です。今後も引き続き安全を確保して工事の進捗を図るとともに、監督員と工場職員が一丸となって、効率的で、安定的な施設の建設に当たります。